

## 豊橋創造大学

本学では「アクティブラーニングを活用した教育力強化と検証」を実現するために、具体的展開を他大学と連携を取りながら、以下の4事業を柱とした事業展開を進め、学生の総合的な「就業力」の育成を図ることを目的に実施します。

### ① メンタルタフネス講座の正規科目化への取り組み

平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」において開発・実施してきた「メンタルタフネス講座」は、学生の「メンタル面の育成」を通して、就職後の早期離職などを防止するための講座であった。今回の取り組みでは、これまでの実施経験や学生からの要望等を反映させて、「実践講座」を追加し総合的な「就業力」の育成を図るとともに、新しい「メンタルタフネス講座」として、キャリア科目群の実習科目として正規科目化する。

### ② 自己理解促進のための採用面接官の疑似体験（バーチャル人事体験）

アクティブラーニングによる学生の主体性・創造性を育成し、自己理解を深める活動として、学生が採用面接官を疑似体験するバーチャル人事体験を行う。特に普段経験することの出来ない「面接官」の役割をオブザーバーとして体験することによって、企業の人事の視点からどのような学生が求められ、何が評価の対象となるのかについて、企業側のニーズや、自己の職業観を理解することが可能となる。

### ③ 地域企業と連携したプロジェクト活動

実社会におけるプロジェクトベースでの仕事の増加状況を鑑み、プロジェクトの体験を通して産業界ニーズとのギャップを埋める「プロジェクト実習」科目を展開する。学生は、ゼロから企画を立ち上げ、答えの用意されていない課題に取り組むことによって、自主性や創造性、さらにはリーダーシップや他者との協働がいかなるものであるのかを実地体験を通して学ぶ。

### ④ 学生、連携大学、地元企業を含めた3者間の協働によるインターンシップ実施

学生自らが行動を起こすアクティブラーニングをコンセプトとして、それを達成するための5つの要素（グループワーク、ディベート、フィールドワーク、プレゼンテーション、振り返り）を包括的に含むインターンシップ活動を連携大学間にも拡大し、学生、連携大学、地元企業の3者間の相乗効果によって更なる成果を狙う。

## 豊橋創造大学短期大学部

アクティブラーニングの手法を最大限活用して、メンタルタフネス育成講座やプロジェクト活動を中心とした以下の4事業を展開し、学生の主体性を育み、産業界のニーズと大学における人材育成のギャップを埋めるような活動を実施します。

### ① 長期にわたる就職活動に耐え抜く「メンタルタフネス育成講座」の実施

「ストレス」の基礎理論、「セルフモチベーション」講座を実施。知識を伝達する座学に加え、課題演習の機会を多く設けメンタルストレスをコントロールし、リラックスするためのノウハウは、これから一生活用できるものであることを理解させる。

### ② 度胸をつけ、臨機応変に対応できるための採用面接官の疑似体験（ロールプレイ）

学生に面接を受ける学生の立場と、企業側の面接担当者の立場の両者を体験し、企業側のニーズを理解させ、自己理解を深め、自らの職業観を形成させる。この経験により、他学生の良い点や改善点を自分の場合に照らし合わせて学んでいくことになる。

### ③ 地域組織と連携したプロジェクト活動

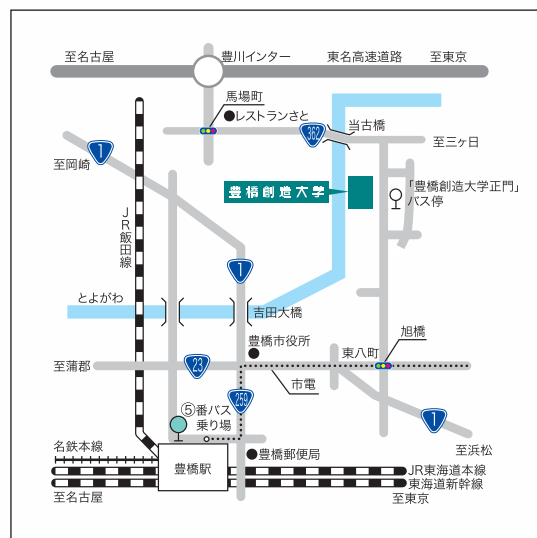
地域組織・企業と関わりを持ちながら、企画・計画・実行するプロジェクトを立ち上げ、そのプロジェクトの運営を通して、学生自らが主体的に学ぶ「SOZOプロジェクト」を推進する。学生は、これまで学んできた知識が、実社会でどのように活用されているのか知る機会となる。

### ④ アクティブラーニングの手法を使った教育経験の共有

あらゆる局面で、アクティブラーニングの手法として5つ要素（グループワーク、ディベート、フィールドワーク、プレゼンテーション、振り返り）を含むような活動を展開し、高度化を図っていく。各大学の教員・学生代表がプレゼンテーションを行い、お互いの評価・フィードバックを行いながら、各大学の教育力のレベルアップを図る。

### 事業期間 終了後の 取組と評価

事業期間終了後は、本取組で形成した大学間ネットワークを母体として、中部圏の他大学をも含めた、より広範な中部圏教育改革ネットワークを形成する。評価の実施体制としては、各大学独自の成果評価を踏まえ、チームにおける連携FDの成果や自己評価、中部地域大学教育改革推進委員会による自己点検・評価を踏まえて、中部圏産学連携会議における外部評価を実施する。



■情報ビジネス学部 キャリアデザイン学科  
■経営学部 経営学科  
■短期大学部 キャリアプランニング科

〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1 渉外部キャリアセンター  
TEL.050-2017-2104(直通) FAX.050-2017-2112(直通)

http://www.sozo.ac.jp E-mail job@sozo.ac.jp

## 平成24年度

文部科学省 大学教育改革推進事業

## 産業界のニーズに対応した 教育改善・充実体制整備事業

取組名称

# 「中部圏の地域・産業界との 連携を通じた教育改革力の強化」

### 取組テーマ

- ① アクティブラーニングを活用した教育力の強化
- ② 地域・産業界との連携力の強化

※アクティブラーニングは、授業者が一方的に知識伝達をする従来型の講義形式ではなく、学生参加型授業、共同学習を取り入れた授業、課題解決型学習やPBL (Problem-Based Learning/Project-Based Learning) など、学生の能動的な学習をとりこんだ授業を総称するもの。

### 事業実施期間

平成24年度～平成26年度

文部科学省の平成24年度新規事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」(本事業は、産業界のニーズに対応した人材育成の取組を行う大学・短期大学が地域ごとに共同して地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働のための連携会議を形成して取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材の育成に向けた取組の充実が図られるよう、国として財政支援を行うことにより、幅広い職業人養成に比重を置く大学の機能別分化に資することを目的としています。)において、豊橋創造大学及び豊橋創造大学短期大学部をはじめ中部圏の23大学が連携し取組む「中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化」が選定されました。



## 大学グループと地域・産業界との連携の趣旨

中部圏23大学(短期大学を含む:以下「中部地域大学グループ」と呼ぶ)は、これまで各大学独自で学生の社会的・職業的自立を目指して、入学から卒業までの間を通じた全学的かつ体系的な指導を行う体制整備を進めるとともに、教育の質保証を目指して教育理念に基づく学士力の検討を進めてきました。この過程で、大学個々で、キャリアガイダンスが整備され、教育改革を本格的に進める舞台が整ってきました。一方で、従来の教育改革の議論が、大学内における教職員間にとどまっているために、「育成すべき資質」が、真に地域・産業界のニーズに応えたものであるかに関して、大学側が十分な確信を得ている状況ではありませんでした。

そこで、中部地域大学グループは、上記の共通認識のもとに、相互に連携しつつ、地域・産業界と積極的に対話を進めることを通じて、大学の教育理念を尊重しつつ、地域・産業界が学生に求める資質として提示している「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」に合致する人材を送り出すための現実的な教育改革力の強化を図ることを目標に定め連携することいたしました。



## 大学グループの構成

中部地域大学グループは、大学が教育改革のチャレンジを行う過程で行う失敗をも財産であるとみなし、中部圏の地域・産業界のもつ質を追求する姿勢を、教育現場に適用するために、積極的な対話や連携をすすめていく。各大学が、地域に根差しつつ「チームで働く力」を発揮するためには、より小さな単位による相互作用が機能的です。これらのチームは、地域に根差した連携FDの企画単位であり、成果や失敗を共有する単位となるが、取組自体は、中部地域大学グループが一体となって実施するものです。

### 東海Aチーム

アクティブラーニングを活用した教育力強化と検証を行う。

- 名古屋商科大学
- 三重大学
- 愛知産業大学
- 椋山女学園大学
- 中部大学
- 豊橋創造大学
- 豊橋創造大学短期大学部

### 東海Bチーム

地域・産業界との連携力強化と検証を行う。

- 名古屋産業大学
- 岐阜大学
- 同朋大学
- 日本福祉大学
- 名城大学
- 愛知大学短期大学部

### 静岡チーム

静岡県を舞台として教育力・連携力の強化を図る。

- 静岡大学
- 静岡理工科大学
- 静岡英和学院大学短期大学部
- 東海大学短期大学部

### 北陸チーム

北陸地方を舞台として教育力・連携力の強化を図る。

- 金城大学短期大学部
- 金沢大学
- 福井大学
- 富山県立大学
- 富山国際大学
- 金沢工業大学

※大学グループの幹事校は三重大学、下線はチームを代表する副幹事校

## 大学グループにおける取組テーマの達成目標・取組内容・成果

### ①アクティブラーニングを活用した教育力強化

**取組内容** 連携FD等を通して、どのようなプログラムや学習目的において、いかなるアクティブラーニング形態が用いられ、どのような教育効果を生んでいるかについて、成功例・失敗例に関わらず、数多くの参加大学間で情報を収集・共有し、整理体系化する取組を進め、その成果を、中部圏産学連携会議における産業界との対話を通して検証する。

**達成目標** 各大学の教育理念に基づいて学生を育てる資質と、地域・産業界が求める資質を実践的事例とともに対話を繰り返すことを通じて、より効果的な大学教育方法を生み出すサイクルを形成するとともに、地域・産業界に大学の包括的な教育使命と、教育現場の実態に関する情報を提供する仕組みを構築する。

### ②地域・産業界との連携力強化

**取組内容** 地域・産業界との連携によるインターンシップの高度化を図る。本取組では、インターンシップの内容や教育効果の改善の領域に、大学と地域・産業界が関わる仕組みづくりが行われる。また、地域・産業界との連携による授業の開講が進められる。本取組を通して、連携型授業の導入を促進し、地域・産業界の知識や生きた体験を教育現場に取り入れ、産業界のニーズに対応した人材作りを進める手立てとする。さらに、地域・産業界との対話・連携を進める上での協議会等を設置し、地域・産業界が大学と一体となって、大学の教育目標に合致しつつ、産業界ニーズに対応した人材育成のための仕組みをつくる。

**達成目標** 地域・産業界と連携したインターンシップや連携型授業の導入と改善を通して、質が保証された教育プログラムを産学連携で生み出す仕組みを構築する。

## 成果 テーマに一貫した大学の教育改革力強化

### 教育改革のために前に踏み出す力

- 各大学が個別に行っていた教育改革を、他大学と連携を組んで行う。
- 大学が独自に行っていた人材育成を、地域・産業界と連携した教育改革につなげて実施することができる。

### 教育改革のために考え抜く力

- 大学間で良い実践や失敗を共有化し、分析し、知識化することを通して、創造性を生み出すことができる。

### 教育改革のためにチームで働く力

- 異なった教育理念や背景を持ったそれぞれの大学や、異なった視点から大学教育を見ている地域・産業界に耳を傾けると同時に、自らの立場を相手に理解できる方法で説明する姿勢を養うことができる。
- 知識化された成功例や失敗例を、社会が活用可能な方法で発信することができる。

## 組織図

